

CEOメッセージ

事業を通じて社会貢献していくことで、企業価値の持続的向上を目指し、お客様とともに未来の社会を創ります。



NTTデータは今年、創立から31年目を迎えております。現在の企業理念は「情報技術で、新しい『しづみ』や『価値』を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する」ですが、この31年間、考え方はまったくぶれておりません。

お客様とのLong-Term Relationshipsによって新しい価値を生み出し、社会課題の解決に貢献していくことが当社の存在意義だと考えています。

近年、技術の飛躍的な進展によってデジタル化の流れが加速しており、デジタル技術の戦略的な活用による事業拡大や新規事業の創出等、お客様のニーズは多様化し、高度化しています。

また、SDGs（持続可能な開発目標）に代表されるように、世界共通の社会・環境課題へ

の対応が企業に求められている現在、お客様や社会が抱える課題をITの力で解決するために、当社への期待はますます高まっています。

今年発表した中期経営計画では、「変わらぬ信念、変える勇気」によって、グローバルで質の伴った成長を目指すことを宣言しました。そして、「NTTデータのESG（環境・社会・ガバナンス）経営」の考え方を明確化しました。ESG経営を進め、お客様とともに事業を推進していくことで、SDGsの17の目標の多くに貢献することができると考えています。

当社ではこれまで事業や企業活動を通じた社会貢献に努めてまいりました。

例えば、2019年5月に発表した「COTO LABO コンソーシアム」は、iPS細胞等に関する実験のデジタル化を目指す8社コンソーシアムの取り組みですが、こちらはライフサイエンス分野における様々な企業が業界の枠を超えて結集し、これまでにない新たな価値を生み出す次世代ラボです。このような取り組みを通じてヘルスケア産業全体の発展に寄与するなど、事業を通じた社会貢献を行っていきたいと考えています。

また、企業活動を通じた社会貢献の例として、先進技術を活用した社員の働き方変革、環境影響を考慮したデータセンタの運営、高度IT人財の育成などについても引き続き実施してまいります。

「変わらぬ信念」としてお客様や社会に貢献をし続けていくためには、変化をし続けることが重要です。変わらぬ価値を提供し続けるために、NTTデータ自身も「変える勇気」を持って変わっていく必要があります。

NTTデータは、ESGを考慮したCSR重要課題を経営戦略に織り込みながら、事業を通じた社会貢献と企業活動を通じた社会貢献を行い、これらの活動を通じて企業価値の持続的な向上を実現してまいります。

代表取締役社長

本間 洋